

## インタビュー：株式会社大潟村あきたこまち生産者協会

## Q1.なぜ、数ある展示会で次回 FOODEX JAPAN を選ばれたか？

FOODEX はアジアでも有数のステータスを持つ展示会で、国内外の来場者も多いため、輸出事業を開始した、2017 年からは毎年、輸出ゾーンに出展しております。展示会では、日頃なかなか会えないような国や地域のバイヤーに直接商品を提案でき、また直接反応を知ることが出来るのもメリットです。

この展示会で出会った海外バイヤーとの取引も始まっており、今後も、FOODEX を通じて新たな販路の確保に努めたいと考えております。

## Q2.自社の業界を取り巻くトレンドや注目していることは？

弊社が現在力を入れている「甘酒」は、アジア諸国にも似たような商品もありますが、日本独自の健康ドリンクです。また、欧米市場では既に一般的なグルテンフリー食品ですが、アジア市場はこれからのマーケットだと感じています。

そのため、それぞれの国や地域にあったレシピの開発も進め、メニューや食べ方と一緒に提案していきたいと考えています。



## Q3.どのような方に FOODEX JAPAN の出展をお勧めしたいか。

FOODEX は国内外の多くのバイヤーが来場される展示会なので、国内の販路拡大を考えている方はもちろんですが、“わざわざ”海外に行かなくても海外バイヤーと直接話をする事が出来るので、これから海外市場を目指したいと考えている企業にとって良いチャンスだと思います。

## Q4.どのような方と FOODEX JAPAN で出会いたいか。

量販店、小売店のバイヤー

外食、ホテル、レストランの購買担当者

食品メーカーの開発担当者

## Q5.次回 FOODEX JAPAN に期待することと、意気込みをどうぞ

無添加・ノンアルコールで栄養豊富な甘酒、また栄養豊富な発芽玄米から作ったグルテンフリーパスタは、健康志向が高まっているアジア諸国に今後必要なものだと感じています。それぞれの国や地域のバイヤーの意見を参考に、それらに合った提案をして一件でも多くの取引に繋がりたいと思います。